



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月10日
上場取引所 東

上場会社名 森永製菓株式会社

コード番号 2201

URL <https://www.morinaga.co.jp>

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 太田 栄二郎

問合せ先責任者(役職名) 執行役員 コーポレートコミュニケーション部長(氏名) 国近 文子 (TEL) 03-3456-0150

四半期報告書提出予定日 2020年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	160,822	1.5	19,151	11.3	19,839	11.9	13,273	7.8
2019年3月期第3四半期	158,496	0.4	17,214	△0.1	17,732	△0.0	12,308	2.2

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 15,677百万円(168.4%) 2019年3月期第3四半期 5,841百万円(△63.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	263.87	—
2019年3月期第3四半期	236.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	192,933	109,472	56.4
2019年3月期	175,837	97,193	54.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 108,730百万円 2019年3月期 96,439百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	66.00	66.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	66.00	66.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	207,000	0.8	21,000	3.9	21,400	3.0	14,500	13.1	288.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年3月期3Q	54,189,769株	2019年3月期	54,189,769株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	3,887,871株	2019年3月期	3,888,013株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年3月期3Q	50,302,329株	2019年3月期3Q	52,003,761株

※期末自己株式数には、役員報酬BIP信託が保有する当社株式 (2020年3月期3Q 24,564株、2019年3月期 27,300株) が含まれております。また、役員報酬BIP信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、適正な情報に基づき作成したものでありますが、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結損益計算書関係)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は次のとおりであります。

売上高は、主力の食料品製造事業が好調に推移し、全体では1,608億2千2百万円と前年同期実績に比べ23億2千6百万円(1.5%)の増収となりました。

損益は、売上高の増収に加え、売上原価率の改善等により、営業利益は前年同期実績に比べ19億3千7百万円(11.3%)増益の191億5千1百万円、経常利益も前年同期実績に比べ21億7百万円(11.9%)増益の198億3千9百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期実績に比べ9億6千5百万円(7.8%)増益の132億7千3百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

<食料品製造事業>

菓子食品部門

国内主力ブランドでは、「ハイチュウ」は包装形態の多様化を行いながら、積極的な売り場展開を進めたことで前年同期実績を上回りました。「チョコボール」「ダース」「森永甘酒」は前年同期実績を下回りましたが、ハイカカオ等の商品が引き続き好調に推移した「カレ・ド・シヨコラ」、定番品が好調に推移した「森永ビスケット」が前年同期実績を上回り、主力ブランド全体では前年同期実績を上回りました。

その他のブランドでは、ブドウ糖を訴求した「森永ラムネ」が新たな食シーンにおける需要創造により大きく伸長し、国内全体では前年同期実績を上回りました。

海外では、米国は好調に推移し大きく伸長しましたが、インドネシアにおける合弁会社の提携解消にともない、海外全体では前年同期実績を下回りました。

これらの結果、菓子食品部門全体の売上高は896億1千2百万円と前年同期実績に比べ13億3千2百万円(1.5%)減となりました。

冷菓部門

主力ブランドの「ジャンボ」グループは、最盛期の天候不順などもありましたが、積極的なプロモーションを展開した効果に加え、「バニラモナカジャンボ」が引き続き好調に推移し、前年同期実績を上回りました。その他のブランドでは、「ビスケットサンド」「板チョコアイス」が前年同期実績を大きく上回りました。

これらの結果、冷菓部門全体の売上高は337億8千3百万円と前年同期実績に比べ28億2百万円(9.0%)増となりました。

健康部門

主力ブランドの「i nゼリー」は、機能訴求の強化や飲用シーンの提案、多様な媒体でのプロモーション展開などを行いましたが、最盛期の天候不順の影響もあり、前年同期実績並みとなりました。手軽にプロテインが摂れる「i nバー」は、糖質オフやタンパク質増量などのリニューアルにより新たなニーズを捉え、前年同期実績を大きく上回りました。「天使の健康」シリーズの通販事業は「おいしいコラーゲンドリンク」が前年同期実績を上回り、通販事業全体としても前年同期実績を上回りました。

これらの結果、健康部門全体の売上高は307億5千4百万円と前年同期実績に比べ11億4千万円(3.8%)増となりました。

[主な商品の前年同期比 (単位：%)]

菓子食品部門		冷凍部門	
森永ビスケット	105	ジャンボグループ	107
チョコボール	96	健康部門	
ダース	95	i nゼリー	100
ハイチュウ	108		
カレ・ド・ショコラ	104		
森永甘酒	91		
菓子食品主力品計	101		

※表内の数値は国内売上で算出

これらの結果、＜食料品製造事業＞の売上高は1,541億5千万円と前年同期実績に比べ1.7%増となりました。セグメント利益は187億7千8百万円と前年同期実績に比べ20億9百万円の増益となりました。

＜食料卸売事業＞

売上高は、47億7千万円と前年同期実績に比べ5.9%減となりました。セグメント利益は3億6千9百万円と前年同期実績に比べ3千3百万円の減益となりました。

＜不動産及びサービス事業＞

売上高は、14億4千5百万円と前年同期実績に比べ0.7%減となりました。セグメント利益は6億3千3百万円と前年同期実績に比べ6百万円の増益となりました。

＜その他＞

売上高4億5千5百万円、セグメント利益8千2百万円であります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産の残高は1,929億3千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ170億9千6百万円増加しております。主な要因は、有形固定資産のその他に含まれる建設仮勘定や投資有価証券が増加したことなどによるものであります。

負債の残高は834億6千万円となり、前連結会計年度末に比べ48億1千6百万円増加しております。主な要因は、未払金が減少した一方で、流動負債のその他に含まれる設備関係未払金が増加したことなどによるものであります。

純資産の残高は1,094億7千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ122億7千9百万円増加しております。主な要因は、利益剰余金やその他有価証券評価差額金が増加したことなどによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末より1.6ポイント増加し、56.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2019年5月14日発表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	39,836	41,135
受取手形及び売掛金	24,561	27,889
商品及び製品	10,417	11,039
仕掛品	468	296
原材料及び貯蔵品	6,297	6,607
その他	3,663	4,234
貸倒引当金	△6	△5
流動資産合計	85,239	91,196
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	17,301	16,972
機械装置及び運搬具(純額)	16,243	16,066
土地	24,191	24,166
その他(純額)	2,248	10,568
有形固定資産合計	59,984	67,773
無形固定資産		
のれん	392	318
その他	228	233
無形固定資産合計	621	552
投資その他の資産		
投資有価証券	24,967	28,774
退職給付に係る資産	3,083	3,053
繰延税金資産	1,028	678
その他	989	981
貸倒引当金	△76	△75
投資その他の資産合計	29,993	33,410
固定資産合計	90,598	101,736
資産合計	175,837	192,933

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,117	22,278
短期借入金	666	863
未払金	10,714	9,687
未払法人税等	4,001	3,255
賞与引当金	2,539	1,294
その他	12,363	17,894
流動負債合計	51,402	55,274
固定負債		
長期借入金	10,000	10,000
繰延税金負債	3,911	4,843
役員株式給付引当金	21	27
環境対策引当金	328	306
退職給付に係る負債	8,342	8,379
資産除去債務	117	119
受入敷金保証金	3,733	3,728
その他	786	781
固定負債合計	27,241	28,185
負債合計	78,644	83,460
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,612	18,612
資本剰余金	17,281	17,281
利益剰余金	57,070	67,021
自己株式	△11,277	△11,277
株主資本合計	81,687	91,638
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,043	15,591
繰延ヘッジ損益	14	3
為替換算調整勘定	656	439
退職給付に係る調整累計額	1,037	1,057
その他の包括利益累計額合計	14,751	17,091
非支配株主持分	754	742
純資産合計	97,193	109,472
負債純資産合計	175,837	192,933

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	158,496	160,822
売上原価	75,615	75,275
売上総利益	82,881	85,546
販売費及び一般管理費	65,667	66,394
営業利益	17,214	19,151
営業外収益		
受取利息	12	4
受取配当金	403	449
持分法による投資利益	—	141
その他	227	248
営業外収益合計	642	843
営業外費用		
支払利息	37	51
持分法による投資損失	17	—
減価償却費	37	51
その他	32	52
営業外費用合計	124	155
経常利益	17,732	19,839
特別利益		
固定資産売却益	694	4
投資有価証券売却益	36	1
特別利益合計	730	6
特別損失		
固定資産除売却損	257	376
減損損失	2,028	—
その他	0	3
特別損失合計	2,285	379
税金等調整前四半期純利益	16,177	19,466
法人税、住民税及び事業税	5,935	5,927
法人税等調整額	△1,188	163
法人税等合計	4,747	6,091
四半期純利益	11,429	13,375
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△879	102
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,308	13,273

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	11,429	13,375
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,224	2,674
繰延ヘッジ損益	22	△11
為替換算調整勘定	△363	△258
退職給付に係る調整額	△34	20
持分法適用会社に対する持分相当額	12	△122
その他の包括利益合計	△5,588	2,302
四半期包括利益	5,841	15,677
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,902	15,613
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,061	64

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結損益計算書関係)

減損損失

当社グループは、以下の資産について減損損失を計上しております。

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

場所	用途	種類及び減損損失(百万円)			
		建物及び 構築物	機械装置及び 運搬具	その他	合計
インドネシア ジャワテンガ州他	製造設備等	780	714	122	1,616
長野県茅野市	賃貸用資産	141	—	270	411

(資産のグルーピングの方法)

当社グループは、事業用資産については、事業の種類別セグメントを基礎に独立したキャッシュ・フローを生み出す最小の単位を識別し、資産のグルーピングを行っております。賃貸用資産については、物件ごとにグルーピングしております。

(減損損失の認識に至った経緯)

投資に見合う回収が不可能と判断されることから、回収可能価額まで帳簿価額を減額しております。

(回収可能価額の算定方法)

製造設備等については、正味売却価額により測定しており、市場価格等により合理的に算定しております。

賃貸用資産については、使用価値により測定しており、将来キャッシュ・フローの見込みに基づき、回収可能価額を零と評価しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	食料品 製 造	食料卸売	不動産 及び サービス	計				
売上高								
外部顧客への売上高	151,540	5,070	1,456	158,067	429	158,496	—	158,496
セグメント間の内部売上高	389	165	0	554	1,054	1,609	△1,609	—
計	151,929	5,236	1,456	158,622	1,483	160,106	△1,609	158,496
セグメント利益	16,769	402	627	17,799	62	17,862	△648	17,214

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、研究用試薬の製造販売他であります。

2 セグメント利益の調整額△648百万円には、セグメント間取引消去12百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△662百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び新規事業開発費等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	食料品 製 造	食料卸売	不動産 及び サービス	計				
売上高								
外部顧客への売上高	154,150	4,770	1,445	160,367	455	160,822	—	160,822
セグメント間の内部売上高	314	178	1	494	727	1,222	△1,222	—
計	154,464	4,949	1,446	160,861	1,183	162,044	△1,222	160,822
セグメント利益	18,778	369	633	19,781	82	19,863	△711	19,151

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、研究用試薬の製造販売他であります。

2 セグメント利益の調整額△711百万円には、セグメント間取引消去12百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△708百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び新規事業開発費等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、各セグメントの実態をよりの確に把握することを目的として、各セグメントに対する収益及び費用の配分方法の見直しを行っております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

(単位:百万円)

	食料品製造	食料卸売	不動産 及びサービス	その他	調整額	合計
減損損失	1,616	—	411	—	—	2,028

当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

該当事項はありません。

3. 補足情報

① 業績

(単位:百万円)

	2019年3月期 第3四半期		2020年3月期 第3四半期		前期比較		
	金額	売上高比率(%)	金額	売上高比率(%)	金額	売上高比率(%)	増減率(%)
売上高	158,496		160,822		2,326		1.5
売上原価	75,615	47.7	75,275	46.8	▲ 340	△ 0.9	△ 0.4
販売費及び一般管理費	65,667	41.4	66,394	41.3	727	△ 0.1	1.1
販売促進費	28,742	18.1	29,445	18.3	703	0.2	2.4
広告宣伝費	6,717	4.2	6,311	3.9	▲ 406	△ 0.3	△ 6.1
運賃保管料	10,560	6.7	11,024	6.9	464	0.2	4.4
給料手当	6,185	3.9	6,263	3.9	78	△ 0.0	1.3
賞与引当金繰入額	765	0.5	797	0.5	32	0.0	4.2
その他	12,694	8.0	12,552	7.8	▲ 142	△ 0.2	△ 1.1
営業利益	17,214	10.9	19,151	11.9	1,937	1.0	11.3
営業外収益	642	0.4	843	0.5	201	0.1	31.3
営業外費用	124	0.1	155	0.1	31	0.0	25.3
経常利益	17,732	11.2	19,839	12.3	2,107	1.1	11.9
特別利益	730	0.5	6	0.0	▲ 724	△ 0.5	△ 99.1
特別損失	2,285	1.4	379	0.2	▲ 1,906	△ 1.2	△ 83.4
税金等調整前四半期純利益	16,177	10.2	19,466	12.1	3,289	1.9	20.3
法人税等	4,747	3.0	6,091	3.8	1,344	0.8	28.3
四半期純利益	11,429	7.2	13,375	8.3	1,946	1.1	17.0
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(▲)	▲ 879	△ 0.6	102	0.1	981	0.7	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,308	7.8	13,273	8.3	965	0.5	7.8

(注) 販売費及び一般管理費の内訳として表示していた「運賃」は、明瞭性を高めるため、「販売促進費」と「その他」に含まれていた「倉敷保管料」と合算し、「運賃保管料」として表示する方法に変更しております。

この変更を反映させるため、2019年3月期 第3四半期の「販売促進費」32,009百万円は、「販売促進費」28,742百万円、「運賃保管料」3,266百万円として組み替え、また、「その他」12,758百万円は、「その他」12,694百万円、「運賃保管料」64百万円として組み替えております。

② セグメント情報

(単位:百万円)

事業	2019年3月期 第3四半期	2020年3月期 第3四半期	前期比較	前期比(%)
食料品製造				
売上高	151,540	154,150	2,610	101.7
(売上高構成比)	(95.6%)	(95.8%)		
セグメント利益	16,769	18,778	2,009	112.0
食料卸売				
売上高	5,070	4,770	▲ 300	94.1
(売上高構成比)	(3.2%)	(3.0%)		
セグメント利益	402	369	▲ 33	91.6
不動産及びサービス				
売上高	1,456	1,445	▲ 11	99.3
(売上高構成比)	(0.9%)	(0.9%)		
セグメント利益	627	633	6	101.0
その他				
売上高	429	455	26	106.1
(売上高構成比)	(0.3%)	(0.3%)		
セグメント利益	62	82	20	132.0

(注) 1. 2020年3月期 第1四半期連結会計期間より、各セグメントの実態をより的確に把握することを目的として、各セグメントに対する収益及び費用の配分方法の見直しを行っております。

なお、2019年3月期 第3四半期連結結果計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

2. 売上高は外部顧客への売上高を表示しております。

③ 食料品製造事業 売上高・営業利益

(単位:百万円)

	2019年3月期 第3四半期	2020年3月期 第3四半期	前期比較	前期比 (%)
連結売上高	158,496	160,822	2,326	101.5
営業利益	17,214	19,151	1,937	111.3
食料品製造 売上高	151,540	154,150	2,610	101.7
営業利益	16,769	18,778	2,009	112.0
菓子食品 売上高	90,944	89,612	▲ 1,332	98.5
営業利益	5,840	6,729	889	115.2
冷菓 売上高	30,981	33,783	2,802	109.0
営業利益	4,043	5,454	1,411	134.9
健康 売上高	29,614	30,754	1,140	103.8
営業利益	6,885	6,593	▲ 292	95.8

(注) 売上高は外部顧客への売上高を表示しております。

国内売上高	141,951	146,157	4,206	103.0
海外売上高	9,589	7,993	▲ 1,596	83.4

海外売上高比率(対連結売上高)	6.1%	5.0%
-----------------	------	------